

PGP NetShare とは

PGP NetShare は、データを多様に保護し、共有するためのツールです。

PGP NetShare では、次の操作を行えます。

- ファイル サーバー、共有フォルダ、USB リムーバブル ドライブなどの共有場所にある保護されたファイルを、承認されたユーザーの間で共有する。
- ハード ドライブ領域の一部に独自のドライブ文字を割り当て、暗号化された仮想ディスク ボリュームとして使用する。
- 安全に保護され、暗号化されたジップ アーカイブを作成する。
- PGP Desktop 電子メール、または PGP Desktop のインストールされていない Windows システム上でも開くことのできる、暗号化された単一の圧縮パッケージにファイルおよびフォルダを格納する。
- ファイルおよびフォルダを完全に破棄し、ファイル回復用ソフトウェアを使用しても回復できないようにする。
- ドライブの空き領域を安全に消去し、削除したデータが完全に回復不可能になるようにする。

目次

- PGP NetShare とは (1 ページ)
- 初めて PGP NetShare をご使用になる方へ (1 ページ)
- 基本事項について (1 ページ)
- インストールされる内容について (2 ページ)
- システム要件 (2 ページ)
- PGP NetShare のインストール (3 ページ)
- PGP NetShare の起動 (3 ページ)
- PGP NetShare のメイン画面 (3 ページ)
- PGP 仮想ディスク ボリュームの作成 (5 ページ)
- PGP ジップ アーカイブの作成 (6 ページ)
- ファイルの細断処理 (8 ページ)
- 空き領域の細断処理 (9 ページ)
- サポート情報 (10 ページ)

初めて PGP NetShare をご使用になる方へ

このガイドに記載されている手順に従って使い始めてください。PGP NetShare でデータを保護するのは、錠に鍵をかけるように簡単なので、初めての方でも安心してお使いいただけます。

- この『クイック スタート ガイド』では、PGP NetShare のインストール手順および基本的な使用方法について説明します。
- PGP NetShare に関するより詳細な情報は、『PGP Desktop ユーザー ガイド』に記載されています。ここでは、鍵ペアについて、鍵ペアを作成する理由、鍵ペアの作成方法、また、暗号化したデータを他のユーザーと安全に共有するために鍵を交換する方法について説明します。

メモ: PGP NetShare のライセンスは、特定の PGP NetShare 機能へのアクセスを可能にします。PGP NetShare 機能の中には、別のライセンスが必要なものもあります。詳細は、『PGP Desktop ユーザー ガイド』のライセンスに関する項を参照してください。

- PGP NetShare の導入、管理、およびポリシー施行についての情報は、『PGP Universal Server 管理者ガイド』を参照してください。

基本事項について

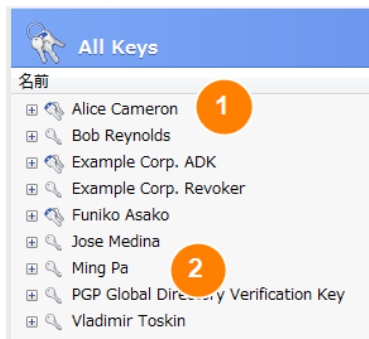
インストール後に、PGP NetShare に PGP 鍵ペアを作成するよう表示されます。鍵ペアとは、秘密鍵と公開鍵の組み合わせのことをいいます。

- 名前が示すように、秘密鍵とそのパスフレーズは秘密にしてください。もしあなたの秘密鍵とパスフレーズが他人の手に渡ってしまった場合、その人があなたのメッセージを読んだり、あなたになりすましたりすることができてしまいます。あなたの秘密鍵は、暗号化された受信メッセージを復号化したり、送信メッセージに署名するために使用します。
- あなたの公開鍵は、他のユーザーに渡すことができます。これにはパスフレーズがありません。あなたの公開鍵は、あなたの秘密鍵でしか復号化できないメッセージを暗号化したり、あなたが署名したメッセージを検証したりするために使用します。

あなたの鍵ペアと他ユーザーの公開鍵は、すべて「鍵リング」に保管されます。他ユーザーの公開鍵は、特定ユーザーに暗号化されたメッセージを送信する場合に使用します。鍵リングの鍵を表示するには、[PGP 鍵] コントロール ボックスをクリックします。

- 2 本の鍵が重なったアイコンは、秘密鍵と公開鍵を表しており、PGP 鍵ペアであることを示します。たとえば、この図では、Alice Cameron というユーザーが PGP 鍵ペアを持っています。
- 鍵が 1 本だけ表示されているアイコンは、他のユーザーの公開鍵を示します。たとえば、この図では、Ming Pa という

ユーザーの公開鍵が鍵リングに追加されています。



インストールされる内容について

PGP NetShare では、購入された機能へのアクセス権を付与するためにライセンスが使用されます。ユーザーのライセンスに基づいて、PGP NetShare ファミリーの一部またはすべてのアプリケーションがアクティブになります。

ライセンスによってアクティブ化されている機能を確認する方法については、後の項で説明します。



PGP NetShare: PGP Desktop ファミリーのアプリケーションの 1 つで、会社のファイル サーバー、保護フォルダ、USB ドライブのようなリムーバブル メディアなどの共有場所にある保護されたファイルをユーザー間で共有することを承認できます。承認されたユーザーに対しては、保護フォルダ内の暗号化されたファイルは通常のアプリケーション ファイルとして表示されます。この保護フォルダに物理的にアクセスできるその他のユーザーに対しては、中のファイルは表示されますが、それを使用することはできません。

PGP NetShare には、次のコンポーネントが含まれています。



PGP 仮想ディスク ボリューム: ハード ドライブ領域の一部に独自のドライブ文字を割り当て、暗号化された仮想ディスク ボリュームとして使用できます。PGP 仮想ディスクは、機密ファイルを保管するのに最適な格納場所です。これは、それらを金庫に保管するのと同じです。金庫の扉が開いている間 (ボリュームがマウントされている間) は、保管されているファイルの変更、追加、および取り出しが可能です。それ以外の場合 (ボリュームがマウントされていない)、ボリューム上のすべてのデータは保護されます。



PGP ジップ: 暗号化された圧縮アーカイブに、ファイルやフォルダを自由に追加できます。PGP ジップアーカイブは、PGP Desktop のインストールされているシステム上でのみ作成および開くことができます。PGP ジップは、機密データを他のユーザーに安全に配布したい場合、または機密データのバックアップを取りたい場合などに、暗号化してアーカイブするツールです。

PGP 自己復号化アーカイブ (SDA): PGP ソフトウェアのインストールされていない Windows システム上でも開くことのできる、暗号化された単一の圧縮パッケージにファイルおよびフォルダを格納できます。SDA は、PGP ソフトウェアを使用していないユーザーと安全にファイルを交換するのに最適なソリューションです。



PGP シュレツダ: ファイルおよびフォルダを完全に破棄し、ファイル回復用ソフトウェアを使用しても回復できないようにします。Windows システム上でファイルを削除するときに Windows の [ごみ箱] を使用した場合、そのファイル自体は実際には削除されず、ドライブ上に残っています。最終的にファイルが上書きされるまでは、攻撃者がそのファイルを回復することは容易なことです。対照的に、PGP シュレツダでは、ファイルが複数回にわたって直ちに上書きされます。これは、高度なファイル回復用ソフトウェアでもファイルを回復できないほど効果的です。また、この機能ではドライブの空き領域が完全に抹消されるので、削除したデータは完全に回復不可能となります。



鍵管理: PGP NetShare では、自分の鍵ペアおよび他ユーザーの公開鍵の両方の PGP 鍵を管理します。あなたの秘密鍵は、あなたの公開鍵で暗号化されたメッセージを復号化したり、あなたの PGP 仮想ディスク ボリュームを保護したりするために使用します。公開鍵は、他のユーザー宛のメッセージを暗号化したり、PGP 仮想ディスク ボリュームにアクセスできるユーザーを追加したりするために使用します。

システム要件

- Microsoft Windows 2000 (Service Pack 4)、Windows Server 2003 (Service Pack 1)、Windows XP (Service Pack 1、Service Pack 2、または Service Pack 3。32 ビット版および 64 ビット版)、Windows Vista (Service Pack 1 を含むすべての 32 ビット版および 64 ビット版)、Microsoft Windows XP Tablet PC Edition 2005 (付属のキーボードが必要)

メモ: 上記オペレーティング システムでのサポートは、Microsoft からのすべての最新ホット フィックスおよびセキュリティ パッチが適用されている場合に限られます。

- 512 MB 以上の RAM
- 64 MB 以上のハード ディスク容量

PGP NetShare のインストール

インストールを開始する前に、すべての起動中のアプリケーションを終了することを推奨します。また、インストール後にシステムの再起動が必要となります。

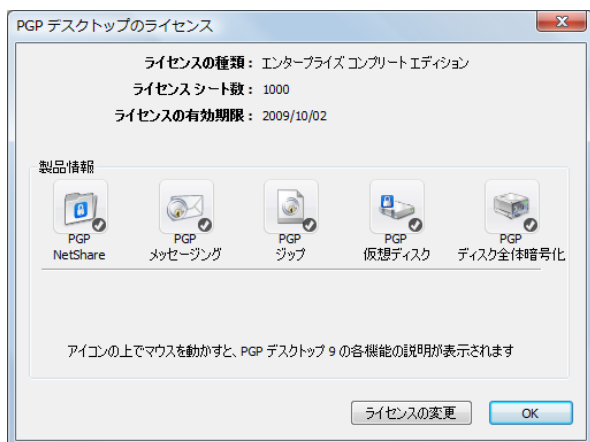
メモ: PGP Universal Server により管理されている環境で PGP NetShare を使用する場合、PGP NetShare インストール プログラムが特定の機能や設定で構成されている場合があります。

➤ PGP NetShare をインストールするには、次の操作を実行します。

1. ダウンロードした PGP NetShare インストール プログラムの場所に移動します。
インストール プログラムは、Microsoft SMS 導入ツールを使用して PGP 管理者により配布されている場合があります。
2. インストール プログラムをダブルクリックします。
3. 画面に表示される指示に従います。
4. 指示に従ってシステムを再起動します。
5. システムの再起動後、画面上の指示に従って PGP NetShare の設定を行います。

ライセンス

現行のライセンスによってサポートされている機能を表示するには、PGP NetShare を起動し、[ヘルプ] メニューの [ライセンス] を選択します。チェックマークが付いている機能が、アクティブなライセンスでサポートされています。



PGP NetShare の起動

PGP NetShare を起動するには、次のいずれかの方法を使用します。

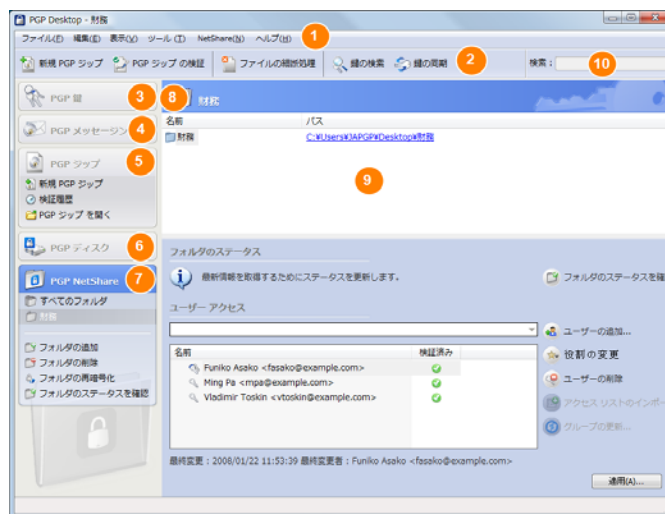
- [PGP トレイ] アイコンをダブルクリックする。



- [PGP トレイ] アイコンを右クリックして [PGP NetShare を開く] を選択する。
- [スタート] メニューで、[プログラム] > [PGP] > [PGP NetShare] を選択する。

PGP NetShare のメイン画面

PGP NetShare のメイン画面を使用すると、各機能に簡単にアクセスできます。



PGP NetShare のメイン画面には、次の要素が含まれます。

- 1 **メニュー バー:** PGP NetShare の各コマンドにアクセスできます。メニュー バーのメニューは、選択されているコントロール ボックスに応じて変わります。
- 2 **ツールバー:** よく使用する機能にアクセスできます。新しい PGP ジップ アーカイブの作成、既存の PGP ジップ アーカイブの検証、選択したファイルの細断処理、鍵の検索、鍵の同期、または [PGP 鍵] 作業領域に現在表示されている鍵のユーザー ID のテキスト検索などを行うことができます。
- 3 **[PGP 鍵] コントロール ボックス:** PGP 鍵を管理できます。
- 4 **[PGP メッセージング] コントロール ボックス:** PGP メッセージングを管理できます。
- 5 **[PGP ジップ] コントロール ボックス:** PGP ジップを管理する機能や、新しい PGP ジップ アーカイブの作成を支援する PGP ジップ アシスタントを制御できます。
- 6 **[PGP ディスク] コントロール ボックス:** PGP ディスクを管理できます。

- 7 **[PGP NetShare] コントロール ボックス:**
PGP NetShare を管理できます。
- 8 **コントロール ボックスの展開/折りたたみ:**
コントロール ボックスを表示または非表示にするために使用します。
- 9 **PGP NetShare 作業領域:** 選択したコントロール ボックスに関する情報と実行できる操作が表示されます。
- 10 **PGP 鍵の検索ボックス:** 鍵リングにある鍵を検索するために使用します。ボックスにテキストを入力すると、名前が電子メール アドレスによる検索結果が表示されます。

各コントロール ボックスを展開すると、利用できるオプションが表示されます。折りたたむと、コントロール ボックスのタイトルだけが表示されるので、表示領域の節約になります。コントロール ボックスを展開するには、そのタイトルをクリックします。コントロール ボックスを折りたたむには、右上にある [展開/折りたたみ] 矢印をクリックします。

PGP NetShare の使用

PGP NetShare 機能を使用すると、承認されたユーザーの間で保護されたファイルを共有することができます。最初に保護フォルダを作成し、そのファイルを使用するために承認するユーザーを指定する必要があります。

1. [PGP NetShare] コントロール ボックスで、[フォルダの追加] をクリックします。



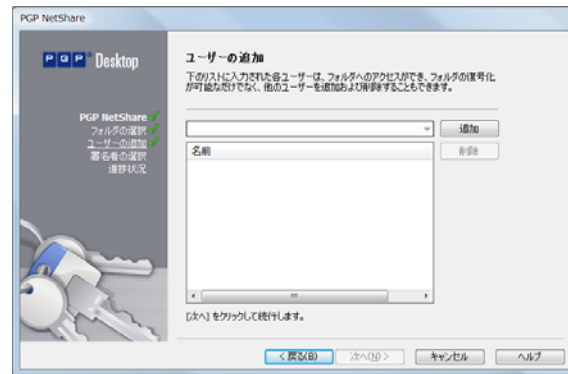
[フォルダの選択] 画面が表示されます。



[参照] をクリックし、保護フォルダにするフォルダを選択します。

2. [説明] フィールドに、作成中の保護フォルダの説明を入力するか、空白のままにしてデフォルトの名前を使用します。

3. [次へ] をクリックします。[ユーザーの追加] 画面が表示されます。



4. 保護フォルダ内のファイルにアクセスできる承認ユーザーを指定するには、下向きの三角形をクリックし、ユーザーを選択してから [追加] をクリックします。このとき、自分自身も保護フォルダ内のファイルにアクセスする場合は、自分自身も追加してください。

PGP NetShare では、各ユーザーに対して保護ファイルへのアクセスが承認された旨の通知は自動的に行われません。承認された各ユーザーへの通知は、保護フォルダの作成者の責任とします。

5. 各ユーザーに役割を割り当てるには、ユーザー名を右クリックし、次の中から役割を選択します。

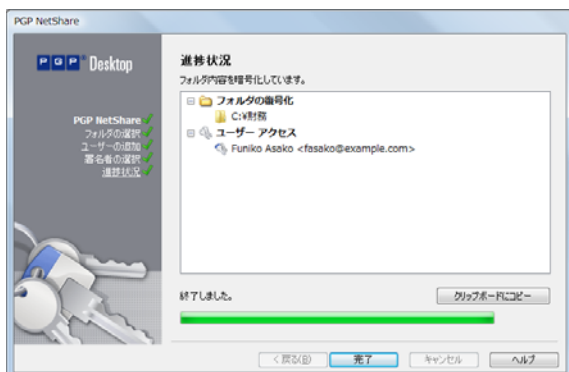
- **[管理者]:** PGP NetShare 保護フォルダごとに 1 人の管理者のみを作成します。この役割は、フォルダに対する完全な読み込み/書き込み権限を持ち、ユーザーの追加や削除、および他のユーザーへの役割の割り当てを行うことができます。また、別のユーザーを管理者に昇格させることもできます。
- **[グループ管理者]:** 各 PGP NetShare 保護フォルダに対して、必要な数のグループ管理者を作成します。この役割は、フォルダに対する完全な読み込み/書き込み権限を持ち、ユーザーの追加や削除を行うことができ、別のユーザーを管理者に昇格させることができます。
- **[ユーザー]:** 各 PGP NetShare 保護フォルダに対して、必要な数のユーザーを作成します。この役割は、フォルダに対する完全な読み取り/書き込み権限を持ちます。

ユーザーの役割は、保護フォルダの作成後にいつでも変更できます。役割を変更するには、PGP NetShare で保護フォルダをクリックし、ユーザー名を右クリックします。

6. [次へ] をクリックします。[署名者の選択] 画面が表示されます。



7. ローカルの鍵リングから秘密鍵を1つ選択し、適切なパスワードを入力します (パスワードがキャッシュされていない場合)。この鍵は、保護フォルダおよびその中のファイルの PGP NetShare 設定情報を安全にするために使用されます。
8. [次へ] をクリックします。[進捗状況] 画面が表示されます。



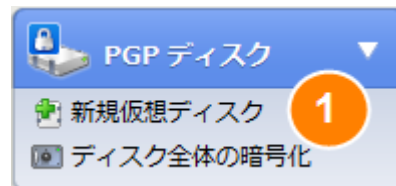
これで、指定した保護フォルダ内のファイルが暗号化され、指定されたユーザーがファイルを使用できるように承認されました。

9. [完了] をクリックします。

PGP 仮想ディスク ボリュームの作成

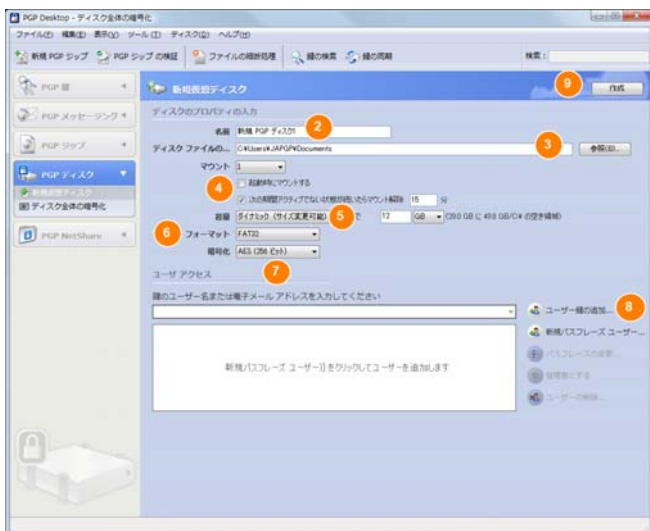
PGP 仮想ディスク ボリューム機能では、ハードドライブ領域の一部に独自のドライブ文字を割り当て、暗号化された仮想ディスク ボリュームとして使用できます。また、ボリュームに対して追加ユーザーを作成して、承認したユーザーがそのボリュームにアクセスできるようにすることもできます。

1. [PGP ディスク] コントロール ボックスで [新規仮想ディスク] をクリックします。



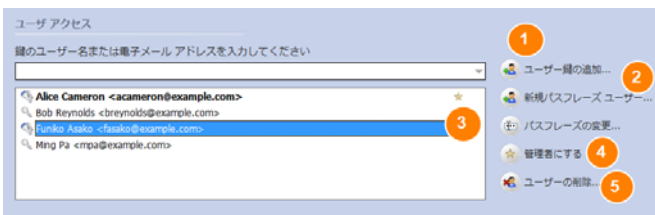
2. ボリュームの [名前] を入力します。
3. ボリュームの [ディスク ファイルの場所] を指定します。
4. マウントの設定を選択します。
 - ボリュームのドライブ文字を [マウント] に選択します。
 - 新しい仮想ボリュームがコンピュータの起動時に自動的にマウントされるようにするには [起動時にマウントする] をオンにします。
 - 指定した時間 (分単位) ボリュームが使用されない場合に自動的にマウントを解除するには [次の期間アクティブでない状態が続いたらマウント解除] をオンにします。
5. ファイルが追加されるにつれてボリュームの容量が増加するように設定するには、[容量] から [ダイナミック (サイズ変更可能)] を選択します。ボリュームの容量が常に一定に保たれるようにするには、[固定サイズ] を選択します。
6. ボリュームのファイル システム形式を [フォーマット] で指定します。
7. ボリュームの暗号化に使用するアルゴリズムを [暗号化] で指定します。
8. 公開鍵暗号化方式を使用して認証を行うユーザーを追加するには [ユーザー鍵の追加] をクリックし、パスワードを使用して認証を行うユーザーを選択するには [新規パスワード ユーザー] をクリックします。

9. [作成] をクリックします。



PGP 仮想ディスク ボリュームの既存のユーザーを管理するには [ユーザー アクセス] セクションを使用します。

1. 公開鍵暗号化方式を使用して認証を行うユーザーを追加するには、[ユーザー鍵の追加] をクリックします。
2. パスフレーズを使用して認証を行うユーザーを追加するには、[新規パスフレーズユーザー] をクリックします。
3. パスフレーズユーザーのパスフレーズを変更するには、そのユーザーを選択し、[パスフレーズの変更] をクリックします。
4. ユーザーに管理者権限を付与するには、そのユーザーを選択し、[管理者にする] をクリックします。
5. ユーザーを削除するには、そのユーザーを選択し、[削除] をクリックします。



PGP ジップ アーカイブの作成

PGP ジップ アーカイブを使用すると、圧縮されたアーカイブに、ファイルやフォルダを自由に追加できます。PGP ジップ アーカイブには次の 4 種類があります。

- **受信者鍵:** アーカイブを公開鍵で暗号化します。対応する秘密鍵の所有者のみがアーカイブを開くことができます。これが最も安全な PGP ジップ アーカイブです。受信者は、PGP ソフトウェア (Windows 版または Mac OS X 版) を使用する必要があります。
- **パスフレーズ:** アーカイブをパスフレーズで暗号化します。これは受信者に伝える必要があります。受信者は、PGP ソフトウェア (Windows 版または Mac OS X 版) を使用する必要があります。

- **PGP 自己復号化アーカイブ:** アーカイブをパスフレーズで暗号化しますが、受信者はアーカイブを開くのに PGP ソフトウェアを使用する必要がありませんが、Microsoft Windows が稼動しているコンピュータでなければなりません。パスフレーズは受信者に伝える必要があります。
- **署名のみ:** アーカイブを暗号化せずに署名することで、ユーザーが送信者であることを証明します。受信者は、アーカイブを開いて検証するのに、PGP ソフトウェア (Windows 版または Mac OS X 版) を使用する必要があります。

パスフレーズおよび署名のみの PGP ジップの詳細については、『PGP Desktop ユーザー ガイド』を参照してください。ここでは簡単に説明します。

1. [PGP ジップ] コントロール ボックスで、[新規 PGP ジップ] をクリックします。



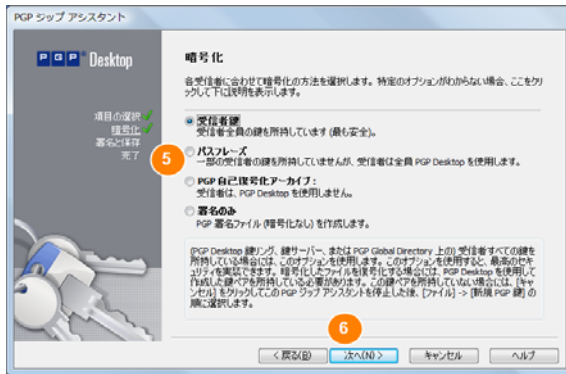
2. アーカイブに含めるファイルやフォルダをドラッグアンドドロップするか、ボタンを使用してそれらを選択します。
3. アーカイブを作成した後、元のファイルやフォルダを細断処理するには、[作業が終了したら、元のファイルを PGP シュレダに送信します] を選択します。
4. [次へ] をクリックします。



5. PGP ジップ アーカイブの種類を選択します。

- [受信者鍵]
- [パスフレーズ]
- [PGP 自己復号化アーカイブ]
- [署名のみ]

6. [次へ] をクリックします。



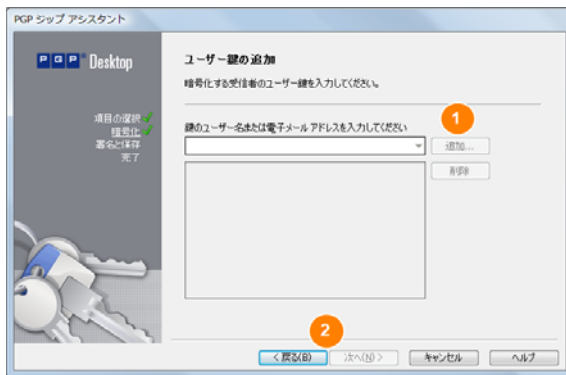
[パスワード] および [署名のみ] の詳細については、『PGP Desktop ユーザーガイド』を参照してください。

指定した PGP ジップ アーカイブの種類に応じて、後に続くページの適切なセクションを参照してください。

受信者鍵

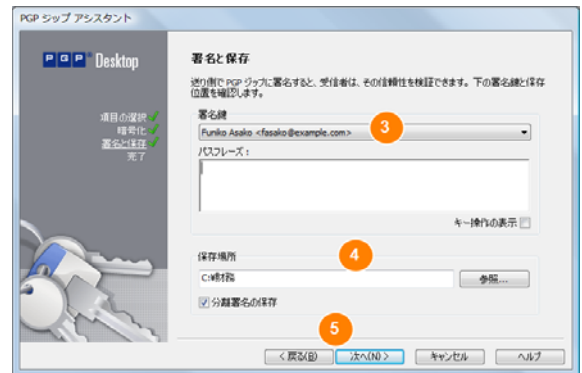
[ユーザー鍵の追加] 画面が表示されます。

1. [追加] をクリックし、[ユーザー選択] 画面を使用して、アーカイブを開けるようにするユーザーの公開鍵を選択します。自分自身でアーカイブを開けるようにするには、ご自分の公開鍵を含めるようにしてください。
2. [次へ] をクリックします。

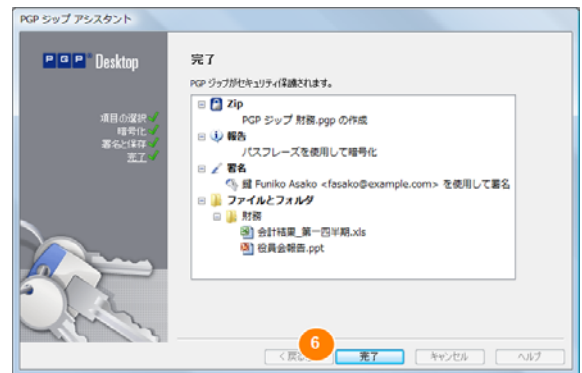


3. アーカイブに署名するために使用するローカル システム上の秘密鍵を選択します。
4. アーカイブの名前および場所を指定します。デフォルトの名前はアーカイブの最初のファイルまたはフォルダの名前であり、デフォルトの場所はアーカイブに含めるファイルやフォルダの場所です。

5. [次へ] をクリックします。PGP ジップ アーカイブが作成されます。[完了] 画面に新しいアーカイブに関する情報が表示されます。



6. [完了] をクリックします。



メモ: PGP ジップ アーカイブの種類のパスワードは、受信者鍵とよく似ています。異なる点は、鍵の代わりにパスワードがアーカイブを保護するために使用されることです。

メモ: PGP ジップ アーカイブの種類の署名のみは、受信者鍵と似ています。異なる点は、アーカイブが署名のみされていて暗号化されていないため、公開鍵を選択しないことです。

PGP 自己復号化アーカイブ

[パスワードの作成] 画面が表示されます。

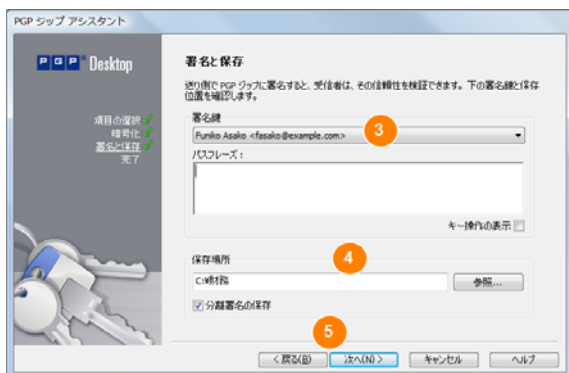
1. PGP ジップ自己復号化アーカイブ (SDA) のパスワードを入力し、パスワードをもう一度入力します。
2. [次へ] をクリックします。



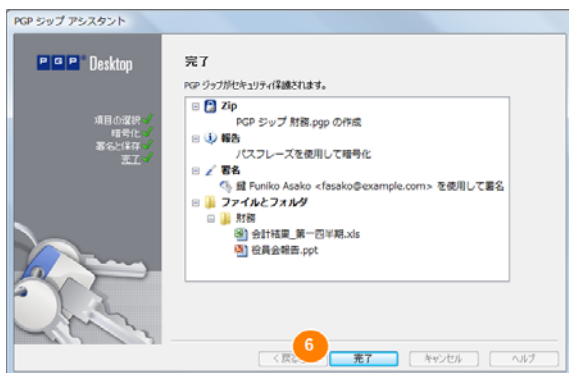
3. アーカイブに署名するために使用するローカル システム上

の秘密鍵を選択します。

- アーカイブの名前および場所を指定します。デフォルトの名前はアーカイブの最初のファイルまたはフォルダの名前であり、デフォルトの場所はアーカイブに含めるファイルやフォルダの場所です。
- [次へ] をクリックします。PGP SDA が作成されます。



- [完了] をクリックします。



ファイルの細断処理

PGP シュレッタ機能では、ファイルおよびフォルダが完全に破棄されるので、高度なファイル回復ソフトウェアを使用しても回復できません。デスクトップには [PGP シュレッタ] と Windows の [ごみ箱] の両方のアイコンが表示されますが、PGP シュレッタだけが、指定したファイルを直ちに上書きし、回復不可能にします。

次のいずれかの方法で、ファイルを細断処理できます。

- [PGP シュレッタ] アイコンを使用する
- PGP ツールバーを使用する
- PGP コンテキスト メニューを使用する

[PGP シュレッタ] アイコンの使用

- [PGP シュレッタ] アイコンを使用してファイルを細断処理するには、次の操作を行います。

- Windows デスクトップで、細断処理するファイルおよびフォルダを PGP シュレッタにドラッグします。ファイルを細断処理するかどうかを確認するダイアログが表示されます。

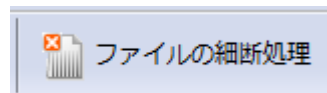
- [はい] をクリックします。指定したファイルおよびフォルダが細断処理されます。



PGP ツールバーの使用

- PGP ツールバーを使用してファイルを細断処理するには、次の操作を実行します。

- PGP NetShare を開きます。
- PGP ツールバーの [ファイルの細断処理] をクリックします。
- 細断処理するファイルを指定します。Ctrl キーを押しながらクリックして複数のファイルを選択することも、Ctrl キーを押しながら A キーを押すことですべてのファイルを指定することもできます。
- [開く] をクリックします。ファイルを細断処理するかどうかを確認するダイアログが表示されます。
- [はい] をクリックします。指定したファイルおよびフォルダが細断処理されます。



PGP コンテキスト メニューの使用

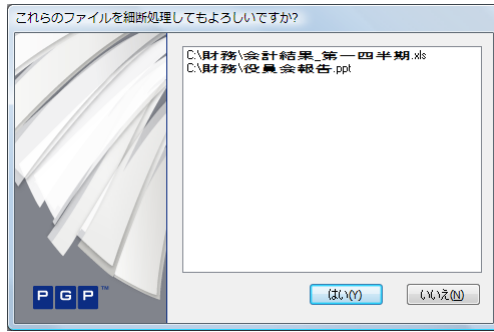
- Windows エクスプローラからファイルを細断処理するには、次の操作を実行します。

- Windows エクスプローラを開きます。
- 細断処理するファイルまたはフォルダを右クリックし、[PGP Desktop] > [<ファイル名> の PGP 細断処理] を選択します。Ctrl キーを押しながらクリックして複数のファイルを選択することも、Ctrl キーを押しながら A キーを押すことですべてのファイルを指定することもできます。

ヒント: 複数のファイルを選択した場合は、テキストで [PGP 細断処理の件数: X] と表示されます。ここで、「X」は、選択されたファイル数を示します。

ファイルを細断処理するかどうかを確認するダイアログが表示されます。

3. [はい] をクリックします。指定したファイルおよびフォルダが細断処理されます。



メモ: PGP シュレツダ機能を頻繁に使用しない場合は、[PGP オプション] を介して、デスクトップから [PGP シュレツダ] アイコンを削除できます。これを行うには、[ツール]>[オプション] を選択して [ディスク] タブをクリックし、[Windows デスクトップ上に [PGP シュレツダ] アイコンを置く] オプションを選択解除し、[OK] をクリックします。

メモ: [PGP オプション] を使用して、細断するときには作成されるパスの数 (パスが多くなれば安全になりますが長くなります)、Windows のごみ箱を空にしたときに中のファイルを細断処理するかどうか、および細断処理するときには警告ダイアログを表示するかどうかを管理できます。

空き領域の細断処理

PGP 空き領域細断処理機能は、ご使用のドライブの空き領域を完全に細断処理するので、削除したデータが完全に回復不可能となります。「空き領域」は実際には誤った呼称であることに注意してください。PGP 空き領域細断処理は、Windows が空と認識するハード ドライブの一部を上書きします。実際には、その領域は空であるか、Windows が削除したと示すファイルを保持している場合があります。

Windows のごみ箱にファイルを入れて空にしても、ファイルは実際には削除されません。Windows はそこに何も無いのかのように動作し、最終的にファイルを上書きします。それらのファイルが上書きされるまでは、攻撃者がそのファイルを回復することは容易なことです。PGP 空き領域細断処理は、この「空き領域」を上書きするので、ディスク回復ソフトウェアを使用してもそれらのファイルを元に戻すことはできません。

➤ ディスクの空き領域を細断処理するには、次の操作を実行します。

1. PGP NetShare を開きます。
2. [ツール] メニューから [PGP 空き領域細断処理] を選択します。
3. 最初の画面で説明を読み、[次へ] をクリックします。
4. [情報の収集] 画面の [ドライブの細断処理] ボックスで、細断処理するディスクまたはボリューム、および PGP 空き領域細断処理が実行するパスの数を選択します。
パス数を選択する際には、次のガイドラインを参考にしてください。

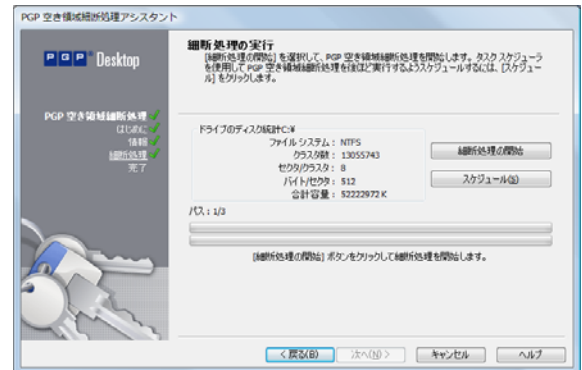
- 個人ユーザー: 3 パス
- 商用: 10 パス
- 軍用: 18 パス
- 最大限のセキュリティ: 26 パス



5. NTFS 内部データ構造を抹消するかどうかを選択 (すべてのシステムで使用可能ではありません) し、[次へ] を選択します。
このオプションを使用すると、細断処理されていない可能性のある、内部データ構造の小さい (1 K 未満) ファイルが細断処理されます。
6. [細断処理の実行] 画面で、[細断処理の開始] をクリックします。

メモ: 空き領域の細断処理を今実行する代わりに、[スケジュールを設定] をクリックして、スケジュールを設定することができます。Windows タスク スケジューラがインストールされていることを確認してください。

空き領域の細断処理プロセスの長さは、指定したパスの数、プロセッサの速度、実行している他のアプリケーションの数などに左右されます。



7. 細断処理セッションが完了したら [次へ] をクリックします。
8. [完了] 画面で、[完了] をクリックします。

サポート情報

テクニカル サポートへのお問い合わせ

- PGP サポート オプションと PGP テクニカル サポートへのお問い合わせ方法の詳細については、PGP Corporation のサポート ホームページ(<http://www.pgp.com/support>) を参照してください。
- PGP サポートのナレッジベースにアクセスしたり、PGP テクニカル サポートにサポートを依頼したりするには、PGP サポート ポータル ウェブサイト (<https://support.pgp.com>) を参照してください。サポート契約がない場合でも PGP サポート ナレッジ ベースの一部にアクセスできますが、テクニカルサポートにサポートを依頼するには、有効なサポート契約が必要です。
- その他の PGP Corporation へのお問い合わせについては、PGP 連絡先ページ (<http://www.pgp.com/company/contact/index.html>) にアクセスしてください。
- PGP Corporation の概要については、PGP の Web サイト (<http://www.pgp.com>) にアクセスしてください。
- PGP サポート フォーラムにアクセスするには、PGP サポート (<http://forums.pgpsupport.com>) にアクセスしてください。PGP Corporation が主催するユーザー コミュニティのサポート フォーラムがあります。

入手可能なマニュアル

インストール前に、すべての製品マニュアルを PGP サポートのナレッジベース (<https://support.pgp.com/?faq=589>) よりご覧いただけます。

PGP NetShare のマニュアルは、ソフトウェアのインストール中にコンピュータにインストールされます。マニュアルを表示するには、[スタート]>[プログラム]>[PGP]>[マニュアル]を選択します。マニュアルはすべて、Adobe Acrobat PDF ファイルとして保存されています。これらのファイルは、Adobe 社ウェブサイト (<http://www.adobe.com/jp/>) より入手可能な Adobe Acrobat Reader を使って閲覧および印刷ができます。PGP NetShare には、Windows のオンライン ヘルプも含まれています。

著作権および商標

Copyright © 1991-2009 PGP Corporation. All Rights Reserved. 「PGP」、「Pretty Good Privacy」および PGP ロゴは米国およびその他の国における PGP Corporation の登録商標です。本リリースノートに記載されているその他すべての登録商標および未登録商標は、各所有企業に帰属します。